

平成30年度第1回（第15回）外部アドバイザー委員会報告書

1 開催日時 平成30年5月30日（水） 10時30分～11時57分

2 開催場所 倉敷市立短期大学 大会議室

3 出席者

(1) 委員 出席7名

高田委員，山本委員，姫路委員，海本委員，佐藤委員，
浪速委員，江島委員

(2) 教職員 出席8名

安達学長，新井服飾美術学科長，金山保育学科長，
溝手図書館長，森事務局長，大原学生部長，
眞次学生部主幹，大森事務局課長主幹

(3) オブザーバー 出席1名

山路企画経営室長

4 次第

(1) 安達学長挨拶

(2) 報告・審議事項

(3) その他

(4) 次回委員会開催時期について

5 外部アドバイザー意見

○ 意見1

50周年事業の実施にあたり，卒業生との関係を大切にしていけることが必要
と考えます。

○ 意見2

「まち」が元気でないと人は集まらないし，「まち」が元気であれば企業も元
気だと思えます。楽しい「まち」，面白い「まち」であれば，卒業後も倉敷市に
残ってみたいと考えるのではないのでしょうか。倉敷市はこじんまりとしたまち
で，過ごしやすいとの評判もあるので，市内就職者数を増やすためにも，学生
と住民とのつながりを大切にしていけばいいと思えます。

○ 意見 3

市内就職者数を増やすためには、入学者の市内枠を拡充するとか、市民のみ別の入試にするとかで、倉敷市民に多く入学してもらうことが必要ではないでしょうか。また、地元企業で活躍している卒業生から、職場の状況等についての発表をしてもらう場を設けてはいかがでしょうか。

○ 意見 4

市内就職者数を増やすためには、市内に就職した時に就職祝金等の特典があればいいのではないのでしょうか。また、地元企業との連携を強化することにより、企業側から特典を得るということも検討してみたいとはいかがでしょうか。また、アルバイトをしている学生は、地域になじんでいると感じています。定着するためのヒントになるのではないのでしょうか。

○ 意見 5

倉敷市に役に立つ人材を育てるは当然で、期待に応える教育システム、教育した学生の活躍の場を倉敷市に設けるということが必要だと思います。優秀な人材を輩出することも必要ですが、前段の理念に反するようなことは良くないと考えます。また、倉敷市以外から入学してくることも必要だと思いますが、倉敷市の税金を使って経営していることを忘れてはいけません。市立の短大という面を活かして、特色ある教育を行い、学生に対するメリット、就職先へのメリットを差別化していくことが必要で、教員を中心に検討していくべきだと思います。

○ 意見 6

市内就職者数の増を目的とするのであれば、卒業生との接点を増やし、就職環境を整える必要があると考えます。学生の中には下津井を知らないという学生もいたので、地域との接点も増やして、倉敷市を好きになってもらい、倉敷に住んでみたいと思う人が増えていけばいいのではないかと感じました。また、市内の高校生に市立短大を選んでもらえるようにすればいいと思います。

○ 意見 7

市内就職者数を増やす取り組みについて、教員もがんばっておられるので、

今後も地道な活動が大切だと思います。倉敷市（設置者）の考え方を短期大学が理解することが必要で、例えば今後5年先どうするのか、中長期的なビジョンも含め、短大と倉敷市（設置者）が協議していかなければならないと思います。